

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

7-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比+4.2%と、2013 年の第 2 四半期以来の高水準となり、アルゼンチン経済の回復ぶりが窺えるものとなった（第 1 図）。需要項目別の寄与度をみると、個人消費が同+3.1%ポイント、総固定資本形成が同+2.8%ポイントと、国内需要が牽引役となっている。一方、純輸出は同▲4.8%と前期（▲2.5%ポイント）よりマイナス幅が拡大した。輸出がさほど伸びない中、国内需要の伸びが輸入の増加に結び付いたことが主因である。

経済の回復は個別の経済指標にも表れており、鉱工業活動指数は 10 月に前年比+4.4%と 6 ヶ月連続でプラスを維持、建設活動指数は 3 月以降、前年比で二桁の高い伸びが続いており、10 月は同+25.3%となった。もっとも、輸出の伸び悩みと国内需要の拡大を受けた経常収支の悪化、改善しているが依然として高いインフレ率や失業率など、解決すべき課題も多い。

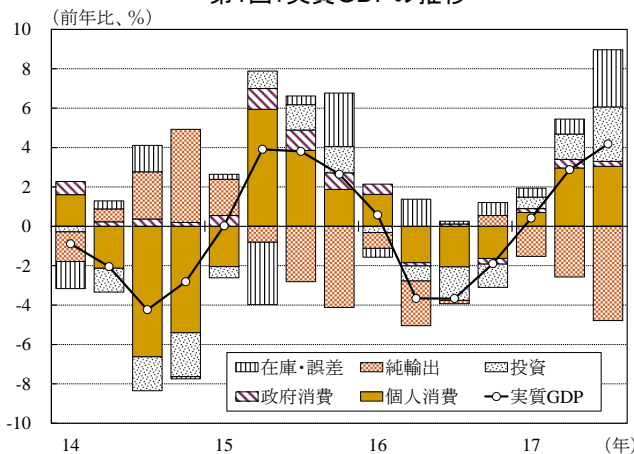
政治面では、10 月に実施された中間選挙で、事前予想を覆しマクリ大統領率いる与党・カンビエモスが大勝した。これを機にマクリ政権は、12 月に税制および年金制度改革法案を議会で可決させ、財政の建て直しに向け前進した。

2. 物価・雇用

物価：前月比ベースの消費者物価上昇率は、11 月は+1.4%と 7 ヶ月連続で+1%台で推移しており、安定化の兆しが窺える。しかしながら、前年比ベースでは+21%となっており、これは他の主要中南米諸国と比べ突出して高い水準である。

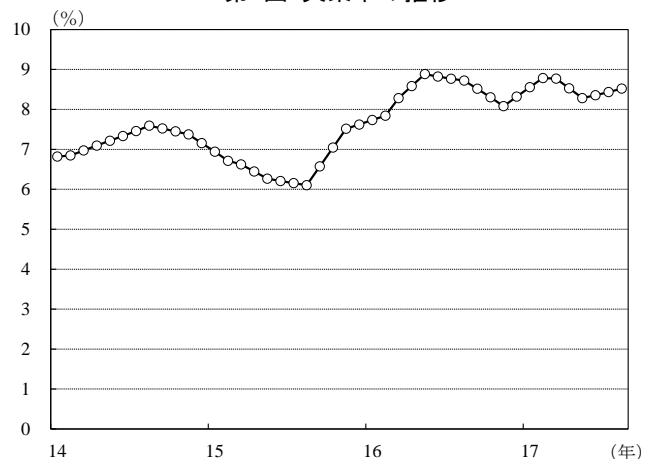
失業率：失業率は景気が回復基調にあるにもかかわらず、2016 年 3 月以降、8%台の高水準で推移しており、8 月は 8.5%であった（第 2 図）。

第1図：実質GDPの推移



(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国通貨研究所作成

第2図：失業率の推移



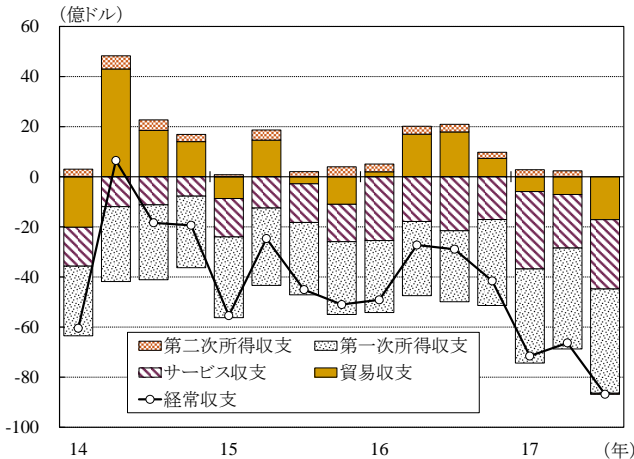
(資料) アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支、外貨準備高

7-9 月期は、輸入増加による貿易赤字幅の拡大や対外債務の利払いの増加などにより、経常収支は▲87 億ドルと前期（▲66 億ドル）から赤字幅が一段と拡大した（第3 図）。

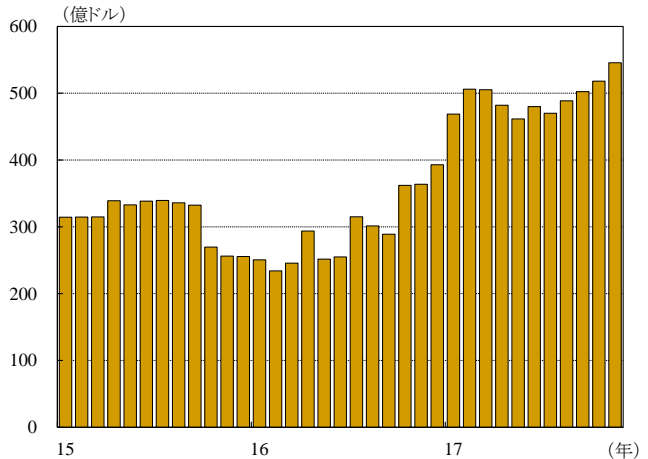
外貨準備高は 11 月に 546 億ドルと、2 年前の 2015 年 11 月に比べ約 2 倍の水準となった（第 4 図）。経常赤字は拡大しているものの、アルゼンチン経済の回復と高金利を受け、海外から投資資金が流入していることが、外貨準備高の増加をもたらしている。

第3図: 経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第4図: 外貨準備高の推移



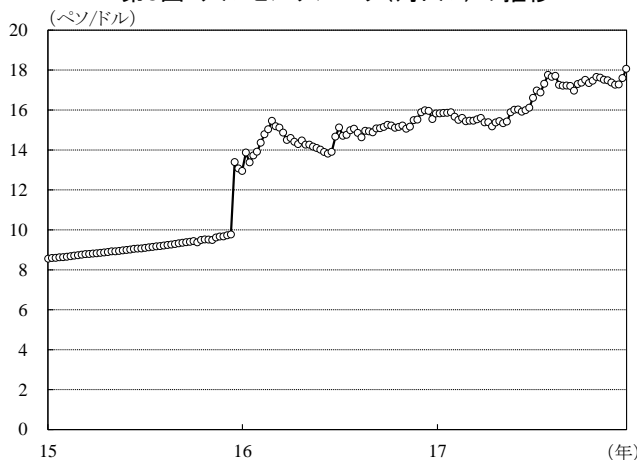
(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

4. 金融市場

為替：ペソ安傾向が続いている。5 月に 1 ドル 16 ペソ台、7 月に同 17 ペソ台となった後、12 月の最終週には同 18 ペソ台と対ドルで過去最安値を更新した（第 5 図）。

株価：メルバル指数は議会の税制・年金制度改革関連法案の可決を受けて上昇、12 月最終週には一時、過去最高となる 29,000 台に達した（第 6 図）。

第5図: アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

第6図: 株価(メルバル指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	2.4%	▲2.5%	2.7%	▲2.3%
鉱工業活動指数(前年比)	▲0.1%	▲2.5%	0.1%	▲4.5%
建設活動指数(前年比)	4.6%	▲0.4%	-	▲12.4%
自動車生産台数(千台)	791	617	527	473
自動車販売台数(千台)	964	614	587	721
失業率	7.1%	7.2%	6.7%	8.4%
消費者信頼感指数	47.1	40.8	54.6	45.2
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	11.0%	23.9%	26.7%	-
(年平均)	10.6%	38.4%	27.7%	40.7%
輸出(FOB)(億ドル)	760	684	568	577
(前年比)	▲5.0%	▲10.0%	▲17.0%	1.7%
輸入(CIF)(億ドル)	744	652	598	556
(前年比)	9.5%	▲12.4%	▲8.4%	▲6.9%
貿易収支(億ドル)	15	32	▲30	21
対外準備(億ドル)(年末)	306	314	256	393
ベースマネー(億ペソ)(年末)	3,772	4,626	6,239	8,217
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末)	5,267	6,330	8,583	11,246
(前年比)	31.2%	20.2%	35.6%	31.0%
経常収支(億ドル)	▲131	▲92	▲176	▲147
株価指数(メルバル指数)(年末)	5,391	8,579	11,675	16,918
対米ドル為替相場(年末)	6.5180	8.4645	12.9450	15.8250

2. 月次

	17年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実質GDP成長率(前年比)	┌	2.9%	┐	┌	4.2%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲2.6%	2.7%	6.6%	5.9%	5.1%	2.3%	4.4%	-	-
建設活動指数(前年比)	10.5%	10.3%	17.0%	20.3%	13.0%	13.4%	25.3%	-	-
自動車生産台数(千台)	38	45	45	38	45	47	44	45	-
自動車販売台数(千台)	68	80	80	73	77	76	74	79	-
失業率	8.5%	8.3%	8.4%	8.4%	8.5%	-	-	-	-
消費者信頼感指数	46.2	45.8	42.0	42.5	47.6	51.0	51.1	51.1	43.2
消費者物価上昇率(前月比) INDEC	2.7%	1.4%	1.2%	1.7%	1.4%	1.9%	1.5%	1.4%	-
輸出(FOB)(億ドル)	49	55	52	53	52	52	52	46	-
(前年比)	2.5%	2.2%	▲2.6%	6.3%	▲9.0%	4.4%	11.3%	▲4.7%	-
輸入(CIF)(億ドル)	50	61	59	60	63	60	62	62	-
(前年比)	13.8%	24.2%	15.4%	29.9%	25.0%	27.4%	28.3%	30.3%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	▲1	▲6	▲8	▲7	▲11	▲7	▲10	▲15	-
対外準備(億ドル)	482	461	480	470	489	502	518	546	-
ベースマネー(億ペソ)	7,959	7,571	8,331	8,323	8,384	8,681	8,701	8,803	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	12,130	12,614	13,194	13,828	14,316	14,873	15,517	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲66	┐	┌	▲87	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	21,020	22,349	21,913	21,582	23,589	26,078	27,935	26,905	-
対米ドル為替相場(月末)	15.4388	16.1363	16.6075	17.6900	17.3600	17.3675	17.6760	17.3750	-

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 矢口 満 mitsuru_yaguchi@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。